

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2090100211		
法人名	医療法人コスモス		
事業所名	グループホームコスモスあもり		
所在地	長野県長野市安茂里1798番地1		
自己評価作成日	令和 4年 10月 7日	評価結果市町村受理日	令和 4年 12月 2日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaisokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action=kouhyou_detail_2017_022_kan=true&IjyosyoCd=2090100211-00&PrefCd=20&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング有限会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	令和 4年 10月 26日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

3年間コロナが終息せず、ご利用者様、ご家族様共に我慢が続いてきました。少し落ち着いたところに、短時間での面会をしたり、窓越しでもご家族の希望にて、顔を見て安心された様子で帰られる姿を見て早い終息を祈ってきました。ご利用者様は、ここに居るから安心と言われ毎日、ラジオ体操や歌をうたったり、お手伝い、作業をされ元気に過ごされています。毎日、日付けを確認しながらの新聞読みをに興味を持たれ、熱心に聞かれ感想も言われるようになりました。毎月の行事を楽しみに、それに向けての装飾を皆で関わり楽しみに待っておられます。新聞たたみや布切りは、ほぼ毎日の日課に、食器洗い、食器拭きも順番にされています。コロナ感染で、しなの・あさまの合同レクは少なくなりましたが、廊下歩行の際お互い声を掛け合っています。遠くには行きませんが、ホームの車にて担当職員とおやつを持って年2回ほど花見、紅葉狩りなど外出も計画し、ご家族に報告しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームの北側には北陸新幹線の高架橋があり、また、JR篠ノ井線、しなの鉄道なども走り、長野市安茂里公民館や(福)長野市社会福祉協議会安茂里介護サービスセンターなどもあり、東側には商店街が広がり、更に、南側や西側には住宅街が続く町場の様相を色濃くしている。ホームは開設から14年目を迎えており、平均年齢89.2歳、平均介護度2.4という18名の利用者が新型コロナウイルス禍の中、職員の支援を受け元気に暮らしている。当ホームは地区の福祉避難所となっている同じ法人系列の隣接有料老人ホームとともに、また、同じ法人系列の他の地域密着型介護老人福祉施設・有料老人ホーム・もう一つのグループホームとともに安茂里地域に根ざし、なくてはならない介護福祉グループを形成している。当ホームには6年前に職員で決めた「あ」「も」「り」を頭文字とした独自の運営理念があり、「明るく楽しく、ゆったりと笑顔あふれる生活を送ることができる」「持てる力を活かし、その人らしく過ごせるよう支援する」「理解し、共感し、一人一人を尊重する」の三つを職員間で周知徹底し、日頃の業務の中で実践している。ほぼ、2年半、新型コロナウイルス感染の影響を受け、例年実施していた花見、善光寺参り、七夕見物等の外出行事を自粛せざるを得なくなっているが、新型コロナウイルス感染レベルが落ち着いた時には、法人内クリニックでの健診の帰途、公園に立ち寄り外気に触れ、おやつを食べたりお茶を飲んだりして気分転換をしたという。また、例年実施している地区の運動会の見学や防災訓練への参加、中学生の職場体験の受け入れ等も中止となり、定期的にあった楽器演奏や大正琴、風景紹介等のボランティアの来訪も自粛という状況が続いている。そうした中、新型コロナウイルスが下火となった一時期、ホームでの敬老会で同じ法人の本部職員による手品が披露され利用者も盛り上がったという。更に、新型コロナウイルス禍の中、運動会、カラオケ、色々なレクリエーションなどを室内で楽しむ職員が工夫し、「節分」「ひな祭り」「父の日」「母の日」「夏祭り」など季節に合わせた行事も、ほぼ毎月のように企画し、全利用者に参加できるようにしている。同じ法人グループの長野市安茂里地区にある地域密着型介護老人福祉施設、当グループホーム及びもう一つのグループホームの活動の様子が法人のホームページのブログで公開されており、新型コロナウイルスという未曾有の経験をする中、色々な知恵を出し合い協働し「ウイズコロナ」という新たな対応を試みようとしている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目: 23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目: 9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目: 18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人が訪ねて来ている (参考項目: 2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目: 38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目: 4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目: 36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働けている (参考項目: 11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目: 49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目: 30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目: 28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		